

リモコン三脚

Remote control Tripod

Trépied à télécommande

取扱説明書

Operating Instructions

Mode d'emplioi

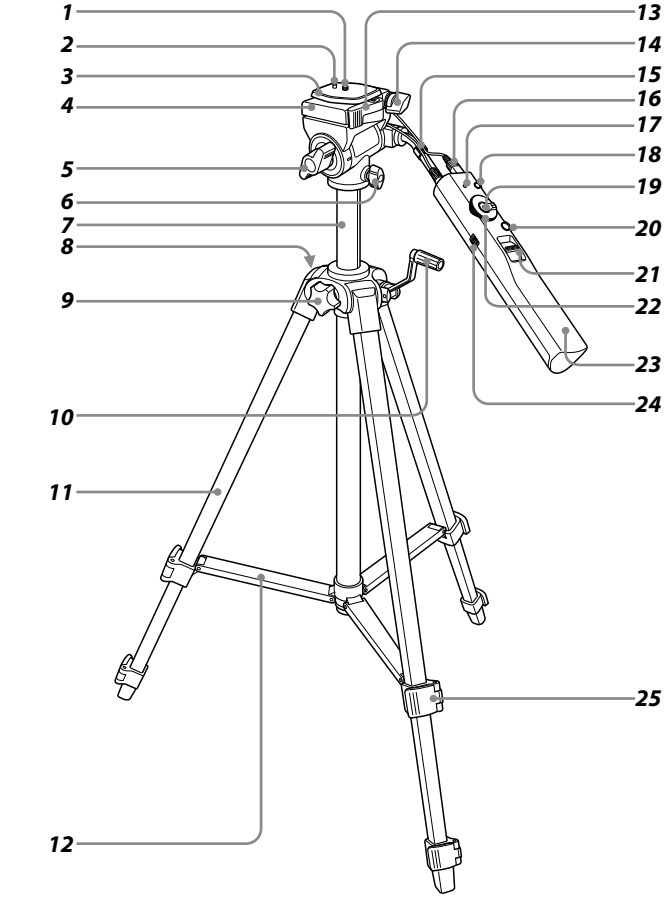
Manual de instrucciones

VCT-80AV/VCT-60AV/VCT-50AV

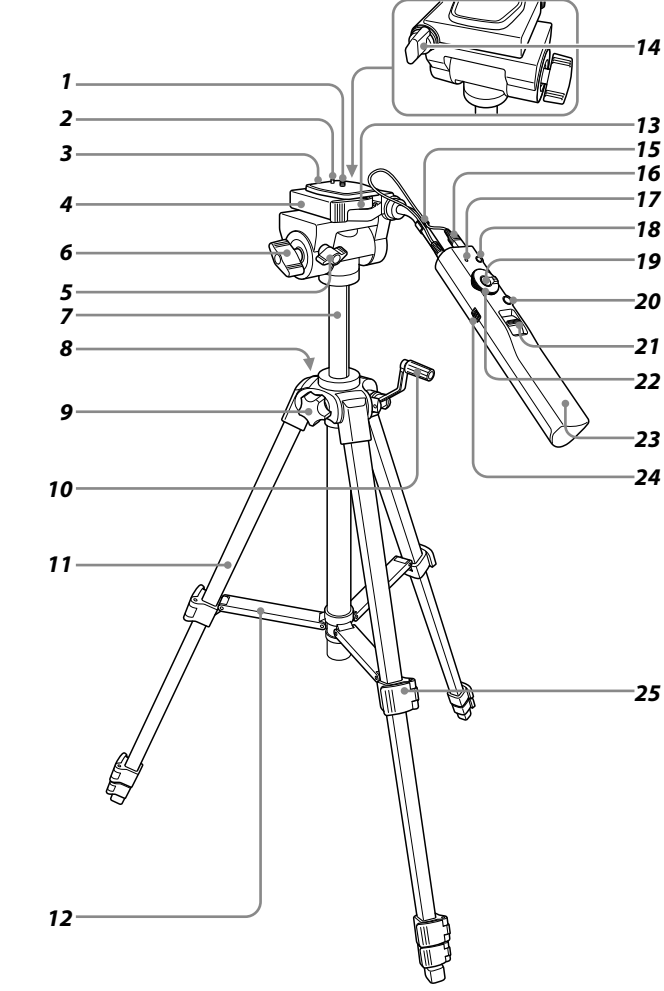
©2008 Sony Corporation Printed in China

A

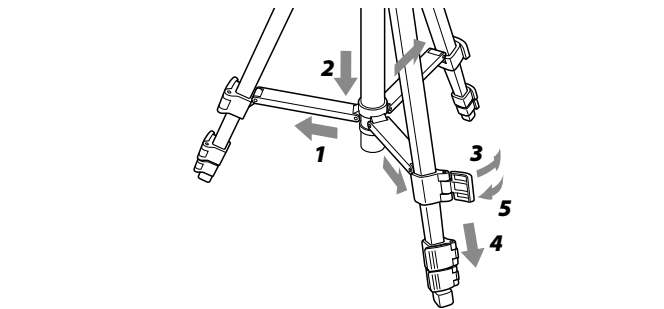
VCT-80AV



VCT-60AV/VCT-50AV

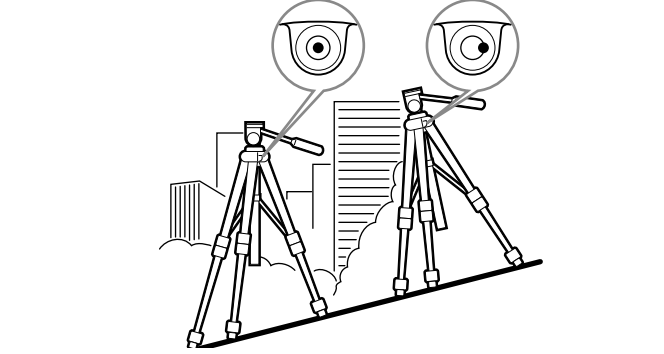


B

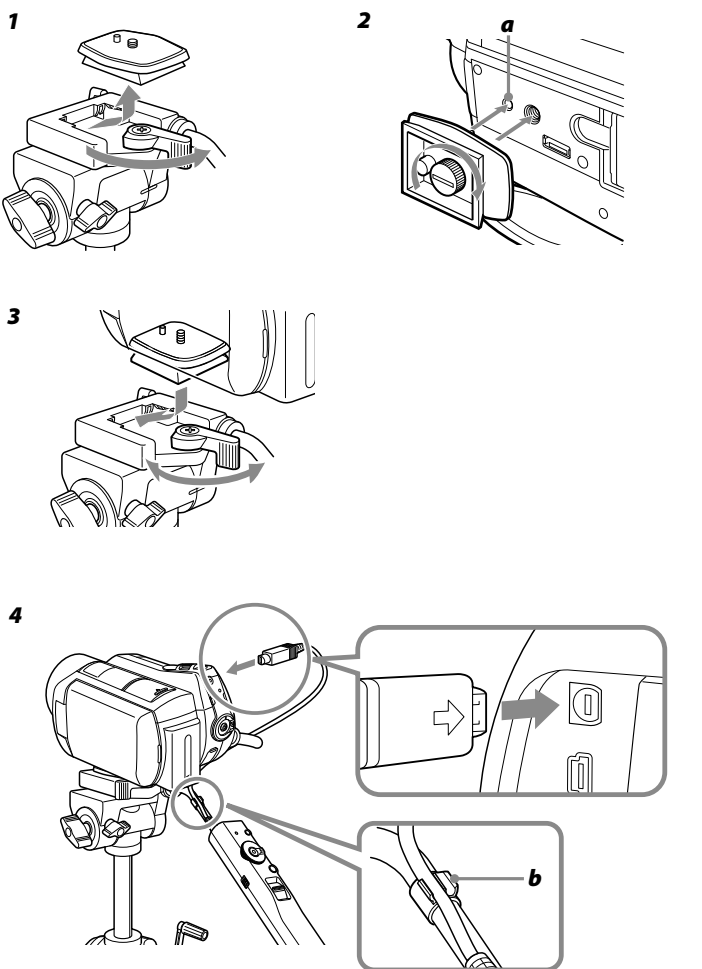


C

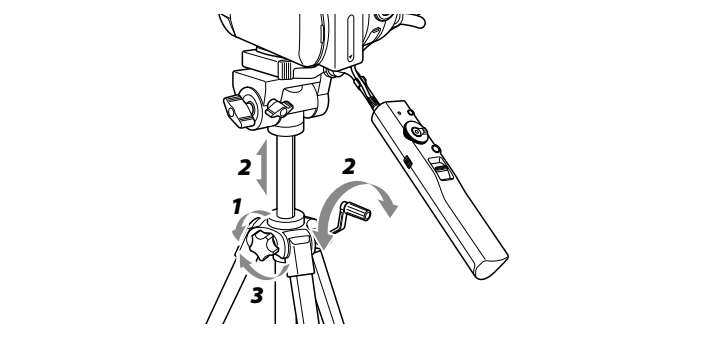
VCT-80AV/VCT-60AV



D

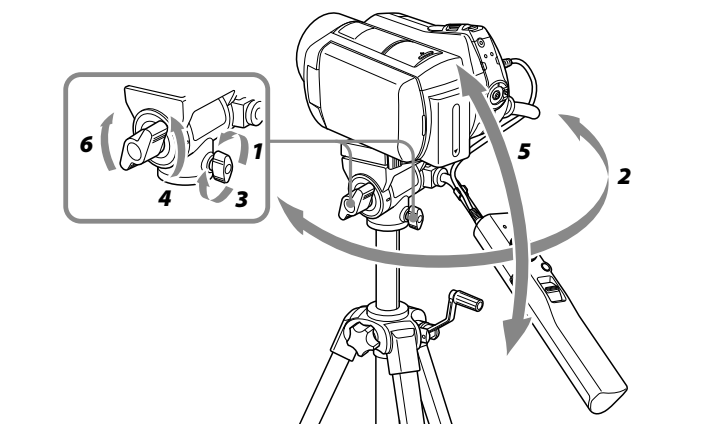


E

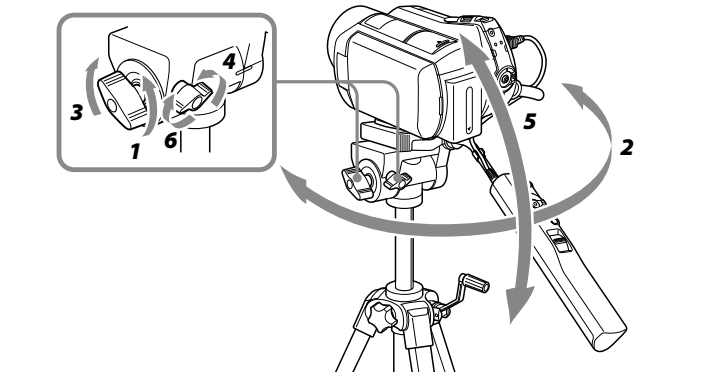


F

VCT-80AV

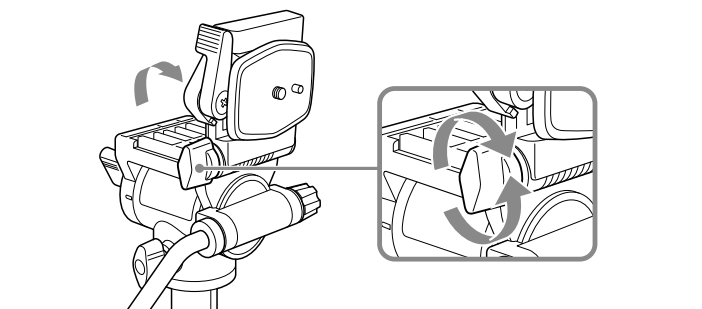


VCT-60AV/VCT-50AV

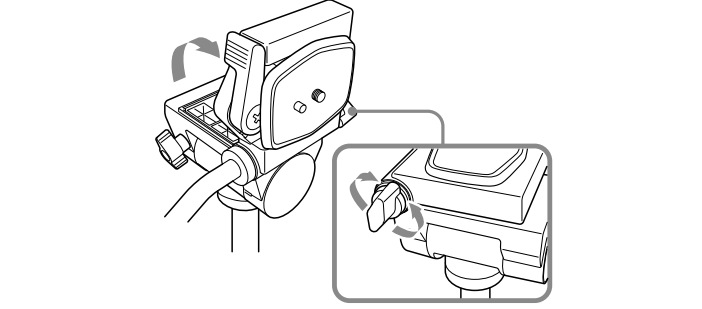


G

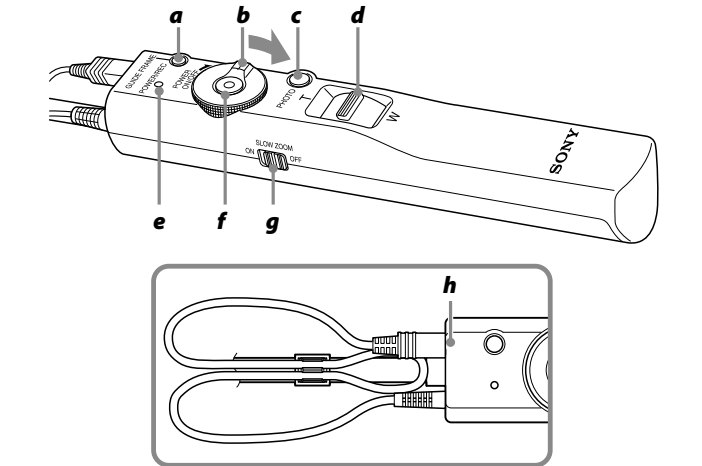
VCT-80AV



VCT-60AV/VCT-50AV



H



A



日本語

ご購入いただきありがとうございます。

【警告】 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。**この取扱説明書をよくお読みの方え**、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

【警告】 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、まちがった使いかたをすると、火災などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ず守ってください。

●安全のための注意事項を守る

●故障したら使わずに、お買い上げ店またはソニーの相談窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

【注意】

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号	行為を指示する記号
指差し	指示

【注意】 下記の注意事項を守らないと、けがをすることがあります。

開脚してからビデオカメラを取り付ける
脚を閉じたまま取り付けると、転倒してカメラを破損したりけがの原因となることがあります。

積載ビデオカメラ重量を守る
制限重量を超えると、三脚が倒れたりしてけがの原因となることがあります。

各ロックつまみやレバーおよび脚ロックレバー、カメラネジなどの締め付けパーツは確実に締め付けて固定する
締め付けが弱いと、ずれたりはずれたりして、ビデオカメラの破損や人にけがを負わせる原因となることがあります。

脚の出し入れ、エレベーターの操作には充分注意を払う
指などをはさみ、思わぬけがをすることがあります。

使用上のご注意

ビデオカメラを取り付け、取りはずすには
ティルトストッパーを確実に締めて固定してください。また、カメラ台にビデオカメラを搭載したあと、アクセサリなどを取り付けしないでください。カメラ台が傾き、ビデオカメラを破損することがあります。

お手入れについて

- 汚れたら、やわらかい布に中性洗剤溶液を含ませてふいてから、乾いた布でからぶきしてください。
- 海岸など、潮風の当たる所で使用したあとは、乾いた布でよくふいてください。

特長

この三脚はビデオカメラなどにお使いいただける、リモコン機能付き三脚です。

- パンハンドルのリモコンで、ソニーのAVリモート端子付きビデオカメラを操作することができます。
- リモコンには撮影の基本機能（電源のON/OFF、動画撮影・静止画撮影、ズーム）のほか、スローズームのON/OFF、ガイドフレーム表示のON/OFF機能があります。

【A】各部のなまえ

- カメラネジ
- ビデオボス
- クイックシュー
- カメラ台
- ティルトストッパー
- パンストッパー
- エレベーター
- 水準器（VCT-80AV/VCT-60AVのみ）
- エレベーターストッパー
- クランクハンドル（VCT-80AV/VCT-60AVのみ）
- 脚
- ステー
- クイックシュー固定レバー
- カメラ台ストッパー
- コードクランパー
- AVリモート端子 / AVリモート端子ホルダー
- POWER/RECランプ
- GUIDE FRAMEボタン
- START/STOPボタン
- PHOTOボタン
- ズームレバー
- POWER ON/OFFスイッチ
- パンハンドル
- SLOW ZOOMスイッチ
- 脚ロックレバー

【B】三脚を立てる

- 脚を広げる。
- ステーを押し下げる。
- 脚ロックレバーを解除する。
- 希望の長さに脚を引き出す。
- 脚ロックレバーを締め、固定する。

【C】水平の調整をする

水準器の気泡が赤い円の中に入るように、脚の長さを調整する。（水準器はVCT-80AV、VCT-60AVのみ搭載）

【D】ビデオカメラを取り付ける

バッテリーやカセット、メモリスティック、ディスクなどは、ビデオカメラを三脚に取り付ける前にセットしておいてください。

- クイックシュー固定レバーを右側に引きながら、クイックシューをはすず。
- クイックシューをビデオカメラに取り付ける。カメラネジをしっかりと締める。ビデオカメラを取り付ける際には、ビデオボスをボス穴(a)に合わせてください。
- クイックシュー固定レバーを右側に引きながら、クイックシューを三脚に取り付け、固定レバーを左側に戻して固定する。
- AVリモート端子をビデオカメラのAVリモート端子に接続する。コードが長い場合は、コードクランパー(b)に挟んでください。

【E】高さを調節する

- エレベーターストッパーをゆるめる。
- クランクハンドルを回して、希望の位置にする。（クランクハンドルはVCT-80AV/VCT-60AVのみ搭載。VCT-50AVは、カメラ台部分を持って高さの調節をする。）
- エレベーターストッパーを締める。

【F】パンニング／ティルトティング

エレベーターストッパーがしっかりと締まっているか確認してから、パンニング／ティルトティングは行ってください。締めかたが充分でないと、画像がゆれる原因になります。

パンニング

ビデオカメラを360°回転させて撮影することができます。

- パンストッパーをゆるめる。
- パンハンドルを左右方向の希望の位置に動かし、ビデオカメラ位置を調節する。
- パンストッパーを締める。

ご注意

急にパンニングした場合、カメラネジがゆるむときがあります。ゆるんでいないか、ときどき確認してください。

ティルトティング

ビデオカメラを上下に向けて撮影することができます。

- ティルトストッパーをゆるめる。
- パンハンドルを上下方向の希望の位置に動かし、ビデオカメラ位置を調節する。
- ティルトストッパーを締める。

【G】カメラ台の位置を変える

ビデオカメラの縦位置撮影ができます。

カメラ台ストッパーをゆるめ、カメラ台を右側へ起こし、カメラ台ストッパーを締める。

ご注意

ビデオカメラの重心位置によっては、任意の位置で固定できない場合や三脚が不安定になる場合があります。

【H】リモコンで操作する

お手持ちのビデオカメラの取扱説明書もあわせてお読みください。

電源を入れる

- ビデオカメラの電源を入れ、スタンバイ状態にする。リモコンのPOWER/RECランプ(a)が緑色に点灯します。
- ビデオカメラを動画または静止画の状態にする。

ご注意

スタンバイ状態がしばらく続くと、自動的に電源が切れます。再び、スタンバイ状態にするには、リモコンのPOWER ON/OFFスイッチ(b)で電源を「ON」にします。

動画を撮影するには

START/STOPボタン(f)を押す。POWER/RECランプが赤色に点灯して、撮影が始まります。撮影を止めるには、もう一度START/STOPボタンを押す。POWER/RECランプが緑色に点灯して、スタンバイ状態になります。

静止画を撮影するには

PHOTOボタン(d)を軽く押ししたまま画像を確認し、強く押し込む。

- リモコンのSTART/STOPボタン、PHOTOボタンは、ビデオカメラの同じ名前のボタンと同じ働きをします。

ズームする

- ズームレバー(d)を傾ける。
 - T側（望遠）：被写体が大きく写る。
 - W側（広角）：被写体が小さく写る。
- ズームレバーを傾ける角度によって、ズーム速度が変わります。

スローズームする

SLOW ZOOMスイッチ(g)を「ON」にする。ズームレバーを傾ける角度に関係なく、ズームは遅い速度に固定されます。

スローズームを解除するには、SLOW ZOOMスイッチを「OFF」にします。

ご注意

- スローズームの速度はビデオカメラにより異なります。
- POWER/RECランプが赤色に点滅した場合は、画面に警告表示が出ています。ビデオカメラの表示を確認してください。

ガイドフレームを表示させる (A)

GUIDE FRAMEボタン(a)を押す。ビデオカメラの画面に水平・垂直のガイドフレームが表示されます。ガイドフレームに合わせて三脚の脚やティルトティングを調節してください。

ガイドフレーム表示を解除するには、もう一度、GUIDE FRAMEボタンを押す。

- 写真はイメージです。実際の画面表示とは異なります。
- ガイドフレーム機能は、AVリモート端子搭載のビデオカメラ、およびHDR-HC9をご利用できます。
- AVリモート端子非搭載の以下のビデオカメラでもリモコン操作ができます。ただし、HDR-HC9以外はガイドフレームは使用できません。
 - DR- CX7, CX6, FX7, HC9, HC7, HC5, HC3, SR8, SR7, SR5, SR1, UX7, UX5, UX3, UX1
 - DCR- DVD908, DVD905, DVD808, DVD805, DVD803, DVD755, DVD708, DVD705, DVD703, DVD653, DVD608, DVD605, DVD602, DVD508, DVD506, DVD505, DVD408, DVD406, DVD405, DVD404, DVD403, DVD308, DVD306, DVD305, DVD304, DVD205, DVD203, DVD202, DVD109, DVD108, DVD106, DVD105, DVD103, DVD92, DVD7, HC96, HC94, HC90, HC48, HC47, HC46, HC45, HC44, HC43, HC42, HC41, HC40, HC39, HC38, HC37, HC36, HC35, HC33, HC32, HC30, HC28, HC27, HC26, HC24, HC23, HC22, HC21, HC20, HC19, HC18, HC17, HC16, IP7, IP5, IP1, PC1000, PC55, PC53, SR300, SR290, SR200, SR190, SR100, SR90, SR82, SR80, SR72, SR70, SR62, SR60, SR52, SR50, SR42, SR40, SR33, SR32, SR30

対象のビデオカメラは、すべての国や地域で取り扱いしているわけではありません。

撮影が終わったら

リモコンのPOWER ON/OFFスイッチで電源を「OFF」にする。

ご使用にならないときは

AVリモート端子は、AVリモート端子ホルダー(h)に差し込んでおいてください。

三脚をたたむ

- 三脚からビデオカメラをはすず。
- パンストッパー、ティルトストッパーをゆるめて、パンハンドルをたたむ。クランクハンドルを元の位置に戻す（VCT-80AV/VCT-60AV）。
- パンストッパー、ティルトストッパーを締める。
- 3本の脚の脚口レバーをゆるめて、脚をたたむ。
- 脚ロックレバーを締めて固定する。

持ち運びについて

キャリングケースに入れてください。

ご注意

ビデオカメラを取り付けたままで、持ち運びしないでください。

主な仕様

積載カメラ重量	VCT-80AV: 4 kg 以下 VCT-60AV/VCT-50AV: 3 kg 以下
パンニング角	360 度
ティルトティング角	VCT-80AV: 前傾 90 度、後傾 60 度 VCT-60AV/VCT-50AV: 前傾 90 度、後傾 55 度
脚段数	VCT-80AV/VCT-50AV: 3 段 VCT-60AV: 4 段
リモコン機能	POWER ON/OFF スイッチ、PHOTO ボタン、START/STOP ボタン、ズームレバー（T/W）、SLOW ZOOM スイッチ、GUIDE FRAME ボタン
外形寸法	VCT-80AV: 全高 約 1 670 mm （開脚状態 エレベーター使用時） 縮長 約 630 mm VCT-60AV: 全高 約 1 465 mm （開脚状態 エレベーター使用時） 縮長 約 480 mm VCT-50AV: 全高 約 1 170 mm （開脚状態 エレベーター使用時） 縮長 約 460 mm リモートコードの長さ 約 400 mm パンハンドルの長さ 約 260 mm エレベータースライド VCT-80AV: 約 330 mm VCT-60AV: 約 265 mm VCT-50AV: 約 265 mm
使用温度範囲	0℃ ～ 40℃
質量	VCT-80AV: 約 1.7 Kg VCT-60AV: 約 1.3 Kg VCT-50AV: 約 1.2 Kg
付属品	キャリングケース（1 個）、印刷物一式

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。

- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

ソニーの相談窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- 型名：VCT-80AV/VCT-60AV/VCT-50AV
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- お買い上げ年月日

よくあるお問い合わせ、解決方法などはホームページをご活用ください。<http://www.sony.co.jp/support>

使い方相談窓口 フリーダイヤル……………0120-333-020 携帯電話・PHS 一部のIP電話…0466-31-2511	左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に
修理相談窓口 フリーダイヤル……………0120-222-330 携帯電話・PHS 一部のIP電話…0466-31-2531 ※取扱説明書112ページの入力欄はこちらへお問い合わせください。	を押ししてください。直接、担当窓口へおつなぎします。
FAQ(共通) 0120-333-389 受付時間 月～金：9:00～20:00 土・日・祝日：9:00～17:00 ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1	

<http://www.sony.net/>